

小学校 第5学年社会科

大単元：我が国の工業生産(配当 20 間)

工業生産を支える貿易と運輸 (配当 6 時間/20 時間)

◆本単元の位置づけ

本単元は、新学習指導要領第5学年「内容(3)ア(ウ)「貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解すること」、イ(ウ)「交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現すること」に基づいて設定した。

今までのように自動車のそればかりではなく、我が国全体の貿易と運輸について捉えること、その際、海運の果たす重要な役割もおさえることが改訂の趣旨である。従って、「貿易や運輸」は、工業生産を支える重要な働きと役割を果たしていることを、運輸全般のことと貿易とを関係づけて理解させることをねらいとしている。

◆小単元の目標

○社会的事象についての知識及び技能

- ・原材料や工業製品の輸出入の特色、その出荷には、海上輸送、航空輸送、陸上輸送など日本国内や世界の交通網が使われていることなどを基に、貿易や運輸で働く人の様子やその役割について理解できるようにする。
- ・地図や地球儀、統計資料や文章資料を読み取って調べ、情報をまとめることができる。

○社会的な事象についての思考力、判断力、表現力等

- ・日本の貿易の運輸面での主役である海上輸送の様子から学習問題を発見し、貿易や運輸の社会的課題や役割について、工業生産における貿易や運輸の働きを外国との関わりと関連付けて追究し、そこで調べたことや考えたことを、文章で記述したり図に表したり説明したり話し合ったりさせる。

○学びに向かう力、人間性等

- ・貿易や運輸の様子に関心をもち、学習問題を発見し、問題解決の見通しをもって追究したりまとめたりして主体的に関わったりすることができるようにする。

◆指導計画 「我が国の工業生産」(20 時間扱い)

第 1 次	日本の工業生産と工業地域の特色		6 時間
第 2 次	自動車をつくる工業		8 時間
第 3 次	(本小単元)工業生産を支える貿易と運輸		6 時間
	導入 問題設定	問題設定(「船員さん達の仕事や生活, コンテナの輸入貨物」に関する学習問題を設定する)	<本時>1/6
	自力解決	学習問題を各自, 自力解決する	2.3/6
	協働解決 1	各自の解決を持ち寄り, 発表し話し合い知識を共有する。そして, 新たな問題「船での輸出製品は?」を設定する	4/6
	協働解決 2	新たな問題「船での輸出製品は?」を自力解決, 協働解決する	5/6
	まとめ	日本の貿易の特色と運輸	6/6

◆本時指導案 第 1 時(15/20)

(1) 本時の学習

本時は, 既習の水産業の授業の時に知った漁船, 自動車産業の時に知った自動車運搬船しか写真で見たことがない子ども達に, 貿易での物資運搬用の主役であるコンテナ船やそのコンテナの写真を見せ, その大きさ, 運ぶ量の多さを実感させ, 子どもがその船の荷物や船員達の仕事や役割についてもっと知りたくなるように展開し, 学習問題を発見させる場面である。また, 時間が許せば予想を話し合わせ, 調べ方を決めさせる場面でもある。

(2) 本時の目標

○コンテナ船の大きさや運ぶ量の多さ, 乗り組み期間の長さに対する“驚き”から学習問題を発見している。また, その理由を考え, 表現し, 調べ方を決める。(思考・判断・表現)

○貿易や海での運輸の主役, 大黒柱であるコンテナ船, コンテナの荷物, それを運ぶ船員の仕事や役割に興味・関心をもって授業に参加する。(学びに向かう力, 人間性等)

(3) 展開

主な発問・指示・説明, ◎資料	主な活動, ○期待される子どもの反応	◆指導上の留意点
1. (1) これは, 何の写真ですか? ◎普段のコンビニエンスストア(以下, コンビニ) 資料1, 資料2 (2) 輸入が止まったらコンビニはどうなるだろう? ◎輸入が止まったときのコンビニ 資料3, 資料4, 資料5	1. (1) 普段のコンビニの写真を見る ○コンビニだ ○よく行くよ (2) 輸入が止まったときのコンビニの写真を見る ○ガラーンとしていて何もない ○輸入が止まるとこんなになっちゃうんだ	◆資料1, 資料2 と 資料3, 資料4, 資料5のコンビニの写真を見比べて, 日本は輸入が止まるとコンビニからほとんど商品がなくなることを認識させる。

<p>(3) 輸入が止まったら家庭生活は どうなるだろう？</p> <p>◎エネルギーの元(石油, 石炭, 天然ガス)の輸入量 資料6</p> <p>◎DVD『ようこそ エネルギー図書館へ』企画・制作 (財) NHKインターナショナル (株) NHKエデュケーション</p> <p>2. (1) コンビニの食料とか石油, 天然ガス, 石炭は, 何で(乗り物)運んでくるかな？</p> <p>(2) このような船で運びました。コンビニの商品などを積んで。</p> <p>◎コンテナ船 資料7</p> <p>◎コンテナ1個 資料8</p> <p>(3) 2万個のコンテナを縦に積むと どれ位の高さになるかな？</p> <p>◎富士山14個分 資料9</p> <p>(4) コンテナの中は, どうなっているかな？</p> <p>◎コンテナの中 資料10</p> <p>3. (1) 船員さんは, コンテナ船のどこに乗っているのかな？</p> <p>◎コンテナ船の図 資料11</p> <p>◎船員の写真 資料12</p> <p>(2) 船員さんは, どれくらいの期間乗っているのだろう？</p>	<p>(3) 輸入が止まると, どのような家庭生活になるか考える (あればDVDを見て知る)</p> <p>○家庭生活に必要なエネルギーの元の、石油(原油)の99.7%、天然ガスの97.6%、石炭・鉄鉱石の100%は輸入だ(2016年)</p> <p>○食料以上に輸入に頼っている</p> <p>○家の中が真っ暗</p> <p>○普段できていることができない</p> <p>○クーラーが止まると熱中症で命が危ない</p> <p>2. (1) 何で運んでくるかを考え話し合う</p> <p>○船だと思う。貿易の99.6%が船なのか。</p> <p>○飛行機では重い物, 多くの量は積めない。</p> <p>○トラックは海に囲まれている日本は無理。</p> <p>(2) コンテナ船の大きさや運んでいる量を知る。</p> <p>○船の長さが400メートルもある。</p> <p>○一隻で約20万トンも運べるのか。</p> <p>○この船に積んでいるコンテナに商品を入れて運んでいるのか</p> <p>(3) コンテナ1個の大きさを実感する</p> <p>○207メートルのコンテナの長さが6メートル幅2.4メートル高さは2.6メートルもある。</p> <p>○この船にこんなに大きなコンテナが2万個載っているのか</p> <p>○コンテナが富士山14個分の高さになる！</p> <p>○一隻の2万個のコンテナだけで！</p> <p>(4) コンテナの中の荷物に興味をもつ</p> <p>○荷物を10トンも積めるんだ</p> <p>○中にはどんな商品を積んでいるのかな</p> <p>○石油とか, 冷凍食品は無理そう</p> <p>3. (1) 船員の仕事について考える</p> <p>○白いところかな？</p> <p>○船員は, もっといると思う</p> <p>(2) 船員の生活について興味をもつ</p> <p>○えーっ, 4ヶ月から6ヶ月も</p> <p>○お風呂とか, ご飯はどうしているのかな</p> <p>○どんな場所で生活をしているのかな</p>	<p>◆エネルギーの元の石油, 天然ガス, 石炭は輸入に頼っていることを認識させる。(教科書に掲載されている資源別輸入率のグラフなどを参照)</p> <p>◆日本は輸入が止まると, コンビニの食料品, 生活用品に限らず, 電気を使った便利で快適な生活もできなくなることをおさえる。</p> <p>◆子どもの反応を生かし多くの物資輸送は船が向いていることをおさえる。(貿易の99.6%は船。0.4%は飛行機)</p> <p>◆輸入船舶の主役, 大黒柱であるコンテナ船の大きさを認識させる。</p> <p>◆コンテナの大きさを, 教室にコンテナの大きさを示しイメージさせる。</p> <p>◆コンテナ船一隻に載っているコンテナの数とその高さを知らせる。</p> <p>◆コンテナの中に積む荷物に意識を向けさせる。</p> <p>◆船員の仕事と生活に目を向けさせ, 長期の乗船期間に驚きをもたせる</p>
---	---	---

<p>4. 疑問に思ったことは何ですか？ どんな問題で調べていこうか？</p>	<p>4. 学習問題を設定する。 ○中身は食料品じゃあないか ○ご飯とか寝る所はどうしているのだろう？</p>	<p>◆自分のもった疑問やもっと知りたいことをワークシート1に書かせる。</p>
<p><子どもと作りたい学習問題> 船員さん達は、どんな仕事や生活をして荷物を運んでいるのだろう？ また、コンテナにどんな荷物を積んでいるのだろう？</p>		
<p>5. 学習問題に対する自分の考え(予想)をノートに書こう。 6. 自分の考えを発表し、話し合おう。 7. 何を、どうやって調べたらよいか。</p>	<p>5. 問題についての自分の考えを書く。 ○牛肉とかをコンテナに積んで…。 ○交代で運転したり寝たりして…。 6. 自分の考えを発表し、話し合う。 7. 問題の答えを調べる方法を考え、決める。 ○自分の予想を調べる ○教科書、資料集で ○図書室の本で ○インターネットで</p>	<p>◆自分の考えをワークシート2に書かせる。 ◆子どもの発想を生かし、いろいろな仕事や生活ぶり、コンテナの荷物などを想定させ、話し合わせる。 ◆一人ひとりに解決の見通しをもたせる。</p>

(4) 評価

- ・船や貿易について興味をもって取り組めたか。(発言で評価する) [学びに向かう力, 人間性等]
- ・学習問題を発見できたか。(発言で, ノートで) [思考・判断・表現等]
- ・学習問題に対する自分なりの考えをもてたか。(ノートで) [思考・判断・表現等]

(5) 板書計画



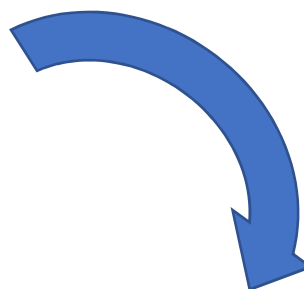
資料 1 普段のコンビニ (店内)



資料 2 普段のコンビニ (商品棚)



資料3 輸入が止まったときのコンビニ



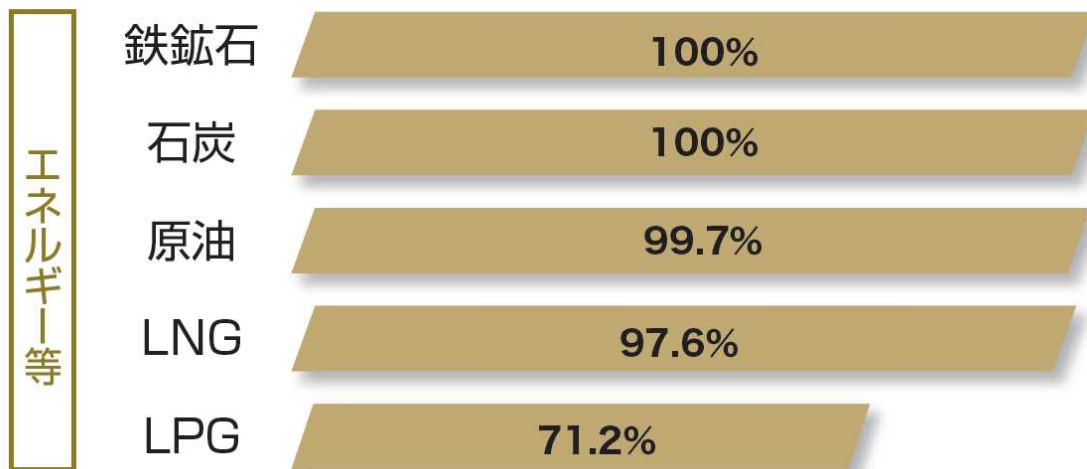
資料 4 輸入が止まったときのコンビニ



国産の米や生鮮食料品など、ごくわずか…



主な物資の対外依存度



公益財団法人日本海事広報協会「Shipping Now」2018-2019
<http://www.jpmac.or.jp/img/relation/pdf/2018pdf-p24-25.pdf>

資料 7 コンテナ船



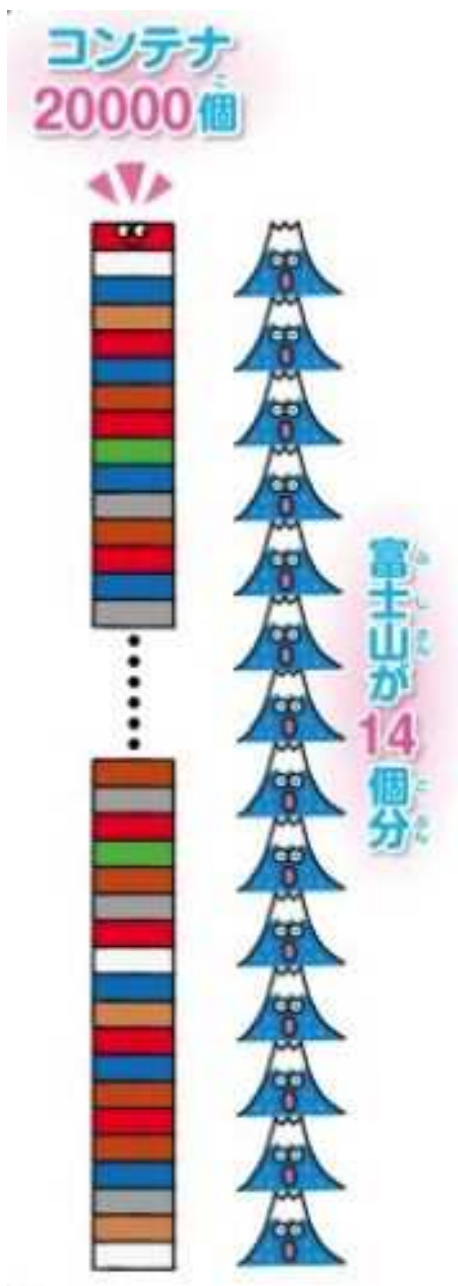
資料 8 コンテナ 1 個



資料 10 コンテナの中



資料 9 コンテナ船の一日に扱う積載量



日本海事広報協会「ぼくとわたしのシップガイド」
<https://www.kaijipr.or.jp/digitalbook/20160331/html5.html#page=21>

資料 11 コンテナ船の図



資料 12 船員の写真



日本船主協会「海の上のプロフェッショナル」
<https://www.jsanet.or.jp/resource/pdf/pro.pdf>

5年社会「貿易と運輸」 ワークシート1

年 月 日 ()

組 番 名前

1. あなたが疑問に思ったこと、これから調べてみたいことは何ですか？

2. あなたが、これから勉強していきたいと思う問題（学習問題）は何ですか？

5年社会「貿易と運輸」 ワークシート2

年 月 日 ()

組 番 名前

3. 学習問題に対する、あなたはどんな予想をしますか？

(1) コンテナの中身は？

(2) 船員さん達の仕事

(3) 船員さん達の船上での生活

◆指導計画「我が国の工業生産」(20 時間扱い)

第 1 次	日本の工業生産と工業地域の特色		6 時間
第 2 次	自動車をつくる工業		8 時間
第 3 次	(本小単元)工業生産を支える貿易と運輸		6 時間
	導入 問題設定	問題設定(「船員さん達の仕事や生活, コンテナの輸入貨物」に関する学習問題を設定する)	1/6
	自力解決	学習問題を各自, 自力解決する	<本時> 2,3/6
	協働解決 1	各自の解決を持ち寄り, 発表し話し合い知識を共有する。そして, 新たな問題「船での輸出製品は?」を設定する	4/6
	協働解決 2	新たな問題「船での輸出製品は?」を自力解決, 協働解決する	5/6
	まとめ	日本の貿易の特色と運輸	6/6

◆本時の指導 第 2,3 時(16,17/20)

(1) 本時の学習

本時は, 前時に作った学習問題を各自で調べ, その問題を自力解決する時間である。

(2) 本時の目標

- 教師から配付される資料を活用して, 学習問題を解決する。(知識・技能)
- 調べて分かったことをわかりやすく表現する。(思考・判断・表現)

(3) 展開

主な発問・指示・説明, ◎資料	主な活動, ○期待される子どもの反応	◆指導上の留意点
1. 今, みんなが解決しようとしている学習問題は何か?	1. 学習問題を確認する。 ○船員さん達は, どんな仕事や生活をして荷物を運んでいるのだろうか?また, コンテナにどんな荷物を積んでいるのだろうか?	◆解決すべき学習問題を板書する。
2. みんなの予想を貿易と運輸に関するパンフレットやDVDで調べよう。	2. 次のことをパンフレットで調べる。 (1) コンテナでどんな製品を運んでくるか	◆次のパンフレット, DVDを用意する。 (1)は「船ってサイコー!」(日本船主協会)全頁, 「ぼくとわたしのSHIP GUIDE」(日本海事広報協会) p. 4

<p>3. 質問がある人、資料が見つからない人は挙手をして下さい。</p> <p>4. 予想したことについて、分かったことがある人は、ノートにまとめて下さい。</p> <p>5. まとめ終わったら提出して下さい。</p>	<p>(2) コンテナ船以外では、どんな物を運んでくるか</p> <p>(3) どの国から輸入しているか</p> <p>(4) 船員さん達は、4～6ヶ月も船の中でどのような仕事や生活をしているのか</p> <p>①仕事の内容と仕方</p> <p>②食事</p> <p>③お風呂，トイレ</p> <p>④余暇時間の過ごし方</p>	<p>(2)は「ぼくとわたしのSHIP GUIDE」p. 12と、「海運と船と港の役割」（日本海事広報協会）p. 3-10と、教師用の資料「SHIPPING NOW」p. 27（日本海事広報協会）で調べさせる。</p> <p>(3)は、初めに教科書を。次に、インターネット「JFTCきつず・サイト」の「日本貿易の現状と課題」の「2. 日本の主な輸出入品」で調べさせる。</p> <p>(4)は「海運と船と港の役割」（日本海事広報協会）p. 21, 22, 「海の上のプロフェッショナル」（DVDとパンフレット，日本船主協会）で調べさせる。</p> <p>◆質問を受け付ける。どうしても学習問題の答えが書いてあるところが見つけられない児童に対しては、知りたいことを確認して、そこが掲載されている頁を教える。</p> <p>◆2時間かけてじっくり調べさせたい。</p> <p>◆ノートに、分かったことを項目ごとにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ船で運んでいる物 ・コンテナ船以外で運んでいる物 ・輸入先の国 ・船員の仕事と生活 ・予想したこと以外のこと。
--	--	--

◆指導計画「我が国の工業生産」(20 時間扱い)

第 1 次	日本の工業生産と工業地域の特色		6 時間
第 2 次	自動車をつくる工業		8 時間
第 3 次	(本小単元)工業生産を支える貿易と運輸		6 時間
	導入 問題設定	問題設定(「船員さん達の仕事や生活, コンテナの輸入貨物」に関する学習問題を設定する)	1/6
	自力解決	学習問題を各自, 自力解決する	2,3/6
	協働解決 1	各自の解決を持ち寄り, 発表し話し合い知識を共有する。そして, 新たな問題「船での輸出製品は?」を設定する	4/6<本時>
	協働解決 2	新たな問題「船での輸出製品は?」を自力解決, 協働解決する	5/6
	まとめ	日本の貿易の特色と運輸	6/6

◆本時の指導 第4時(18/20)

(1) 本時の学習

本時は、前時、2時間で自力解決した各自の調べを持ち寄って、みんなで協働解決をする時間である。その際、本時で解決できなかったこと、もっと知りたいことを新たな学習問題として設定する時間でもある。

(2) 本時の目標

○前時までの自力解決で分かったことを発表し、話し合い学習問題を解決する。分からないこと、もっと知りたいことを新たな学習問題として設定する。(思考・判断・表現)

(3) 展開

主な発問・指示・説明, ◎資料	主な活動, ○期待される子どもの反応	◆指導上の留意点
<p>1. 調べてみて、どんなことが分かりましたか?</p>	<p>1. 前時に調べて分かったことを発表する。</p> <p>(1) コンテナには、①一般的なコンテナ②温度を設定できるコンテナ③液体を運ぶコンテナがある</p> <p>①は主に衣服、家具、電気製品などを運ぶ ②は魚や肉、果物を運んでいる ③はワインやソースなどを運ぶ</p> <p>(2) コンテナ船以外の船も多い</p> <p>○ばら積み船は、小麦やトウモロコシ、鉄鉱石などを運ぶ。小麦はパンやピザやうどんなどの材料になる、年に2万トン(国民一人当たりパンを7つ配られる量)も輸入している</p> <p>○LNG船は天然ガス専用。ガスを液化して冷やして運んでくる。冷やすと体積が縮むのでたくさん積める</p> <p>○前単元で習った自動車専用の船もある</p> <p>○タンカーで原油・石油を運んでいる</p> <p>○紙の材料のチップ(木材)専用船もある</p> <p>(3) 輸入先の国</p> <p>○石油は、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、カタールetc.</p> <p>○LNGは、オーストラリア、カタール、マレーシアetc.</p> <p>○鉄鉱石は、オーストラリア、ブラジルetc.</p> <p>○木材は、カナダ、アメリカ、ロシアetc.</p> <p>○小麦は、アメリカ、カナダ、EUetc.</p> <p>○トウモロコシは、アメリカ、ブラジル、ウクライナetc.</p> <p>○大豆は、ブラジル、アメリカ、アルゼンチンetc.</p>	<p>◆前時にまとめたノートや資料のパンフレットを用意して、授業に臨ませる。</p> <p>◆発表は、関連することを板書でまとめながら進めたいので、付け足しを中心に授業を進める。</p> <p>◆子ども同士で調べが異なっていたら、話し合い、事実を確認し知識を共有したい。</p> <p>◆輸入先の国は教科書を開かせ、確認する。</p>

	<p>(4) 船員の生活</p> <p>○船員の乗組員約25人(第1時のコンテナ船)と仕事は、船の安全を守る強い権限をもつ船長、24時間体制で船を運転する航海士、荷物の管理、船体の整備をする船員、エンジンを動かす機関長・機関士、食事を作る人、入港手続きをする人etc. がいる</p> <p>○航海士の1年は、普通は4ヶ月(たまに6ヶ月)勤務。2ヶ月休暇、4ヶ月勤務、2ヶ月休暇のローテーションで繰り返す</p> <p>○1日は、朝、夜とも8時から12時が勤務、残りは休憩と就寝である。トイレや食事は休憩時間に行っている</p>	<p>◆船員の仕事を確かに共有するため、資料として、パンフレット「海の上のプロフェッショナル」と、DVD「海の上のプロフェッショナル」(日本船主協会)を用意しておく。DVD「マジで航海してます。」があれば、さらによい。</p>
<p>2. 全部でどれくらい輸入していると思いますか? ◎「主な海上貿易量」2016</p>	<p>2. 全体での輸入量はどれくらいか、発表し、共有する</p> <p>○総輸入量は、7.7億トン</p> <p>主な品目は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石炭 19284万トン ・原油15802万トン ・LNG(液化天然ガス) 8363万トン ・鉄鉱石12653万トン <p>○総輸出量は、1.7億トン</p> <p>○船は、輸入の方が多い</p>	<p>◆教師用の資料「SHIPPING NOW」p.27と、「海運と船と港の役割」(日本海事広報協会) p.10を参考にする。</p> <p>◆折を見て資料「主な海上貿易量」を提示する。</p>
<p>3. 貿易の99.7%が船である理由は何だろう?</p>	<p>3. 海上輸送の多い理由を考える</p> <p>○重い物は飛行機では無理、船が向いている</p> <p>○船が最も大量に運べる</p> <p>○エンジンも省エネ、二酸化炭素を出す量も少なく、環境によい</p>	<p>◆輸送手段としての船の良さを確認する。</p>
<p>4. よく分からないところやもっと知りたいことはないですか?</p>	<p>4. 新たな学習問題を設定する</p> <p>○船での輸入のことはよく分かったけど、輸出のことはどうなっているか分からない</p>	<p>◆船による輸出については分からないことに気づかせる。</p>

(4) 本時の資料 主な海上貿易量 (輸入) 2017年

品目	重量
原油	1億5802万トン
LNG(液化天然ガス)	8363万トン
石炭	1億9284万トン
小麦	571万トン
トウモロコシ	1531万トン

◆指導計画「我が国の工業生産」(20 時間扱い)

第 1 次	日本の工業生産と工業地域の特色		6 時間
第 2 次	自動車をつくる工業		8 時間
第 3 次	(本小単元)工業生産を支える貿易と運輸		6 時間
	導入 問題設定	問題設定(「船員さん達の仕事や生活, コンテナの輸入貨物」に関する学習問題を設定する)	1/6
	自力解決	学習問題を各自, 自力解決する	2,3/6
	協働解決 1	各自の解決を持ち寄り, 発表し話し合い知識を共有する。そして, 新たな問題「船での輸出製品は?」を設定する	4/6
	協働解決 2	新たな問題「船での輸出製品は?」を自力解決, 協働解決する	<本時>5/6
	まとめ	日本の貿易の特色と運輸	6/6

◆本時の指導 第5時(19/20)

(1) 本時の学習

本時は、新たな学習問題を自力解決し、引き続き協働解決し、海上輸送による輸出の実情を共有する時間である。

(2) 本時の目標

○資料を活用して、学習問題を自力解決し、それを発表し、協働解決する。(知識・技能)

○分かったことをわかりやすく表現し、話し合う。(思考・判断・表現)

(3) 展開

主な発問・指示・説明, ◎資料	主な活動, ○期待される子どもの反応	◆指導上の留意点
<p>1. 今日解決する学習問題は何ですか?</p> <p>2. 調べ始める前に、分かっていること、予想できることはなにか?</p> <p>3. 教科書や資料集、前時に使ったパンフレットなどで調べよう。</p> <p>4. 調べて分かったことを発表しよう。</p>	<p>1. 学習問題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どんな物を、船(海上輸送)で輸出しているのだろうか?</p> </div> <p>2. 発表する</p> <p>○自動車は自動車運搬船で輸出していることは勉強した</p> <p>○重い輸出物は船でしていると思う</p> <p>○軽くて精密な物、値段の高い物は、飛行機(航空輸送)だと思う</p> <p>3. 資料を使って調べる</p> <p>○完成自動車は406万台, (7,691万ト) (平成25)で一番多い</p> <p>○次が鋼材で3681万ト</p> <p>○3位が自動車部品, 2334万ト</p> <p>○4位が化学薬品1921万ト</p> <p>4. 調べたことを発表し、話し合う</p> <p>○輸出も重い物の方が多い</p> <p>○……… (本時で調べたことを発表する)</p>	<p>◆学習問題を板書する。</p> <p>◆自動車の学習の既習を生かす。</p> <p>◆船(海上輸送)以外には、飛行機(航空輸送)があることをおさえる。</p> <p>◆「海運と船と港の役割」(日本海事広報協会)p. 10</p> <p>◆机間巡視して、これ以上調べられないと判断したら、発表、話し合いの協働解決にうつる。</p>

◆指導計画「我が国の工業生産」(20 時間扱い)

第 1 次	日本の工業生産と工業地域の特色	6 時間	
第 2 次	自動車をつくる工業	8 時間	
第 3 次	(本小単元)工業生産を支える貿易と運輸	6 時間	
	導入 問題設定	問題設定(「船員さん達の仕事や生活, コンテナの輸入貨物」に関する学習問題を設定する)	1/6
	自力解決	学習問題を各自, 自力解決する	2,3/6
	協働解決 1	各自の解決を持ち寄り, 発表し話し合い知識を共有する。そして, 新たな問題「船での輸出製品は?」を設定する	4/6
	協働解決 2	新たな問題「船での輸出製品は?」を自力解決, 協働解決する	5/6
	まとめ	日本の貿易の特色と運輸	6/6<本時>

◆本時の指導 第6時(20/20)

(1) 本時の学習

本時は、航空輸送と日本の貿易の特色と運輸に目を向け、今まで学習してきたことと合わせて、貿易と運輸についてまとめる時間である。

(2) 本時の目標

○航空輸送と日本の貿易の特色を捉え、貿易と運輸全般についてまとめる。(思考・判断・表現)(知識・技能)

(3) 展開

主な発問・指示・説明, ◎資料	主な活動, ○期待される子どもの反応	◆指導上の留意点
<p>1. 海上輸送以外に、どんな輸送方法があるかな?</p> <p>2. 今日は、海上輸送以外の輸出入と貿易全体の特色を学びます。</p> <p>3. 日本の航空輸送は、どうなっているのかな?</p> <p>4. 教科書の輸出入のグラフなどから、航空機による物を選んでみよう。</p> <p>5. 日本全体の輸出入、つまり貿易全体の特色は何だろう?</p>	<p>1. 海上輸送以外の輸送方法を知る</p> <p>○航空輸送がある</p> <p>○陸上輸送(トラック)もあるが輸出入は無理</p> <p>○航空輸送と海上輸送と合わせると、日本の貿易全体の実情が分かる</p> <p>2. 本時の課題を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>航空輸送と、日本の貿易全体の特色は、何だろう?</p> </div>	<p>◆既習の海上輸送以外の航空輸送にも目を向けさせる</p> <p>◆課題を板書し、提示する。</p> <p>◆先ず航空輸送の特色について考えさせ、共有する。</p> <p>◆次に、航空輸送の実情を調べ、共有する</p> <p>◆さらに、海上輸送と合わせて、日本の輸出入(貿易)全体の特色について調べさせ、知識を共有する。</p>